

## 令和4年度「医療検査と自動化」第2回編集委員会

日 時：令和4年10月9日（日）11:00～12:00

場 所：神戸国際会議場 503号室（現地とZoom両方で開催）

出席者：高橋 聡、大久保滋夫、上岡樹生、萱場広之、白井秀明、谷直人、萩原三千男、藤巻慎一、日高 洋、松下 誠、横田浩充、和田隆志 田原完次（事務局）

WEB出席者：氏家真二、長田 誠、栢森裕三、小飼貴彦、千本松孝明、中山智祥、南木 融、前田育宏

欠席者：村上正己、盛田俊介、阿部正樹、石井良和、磯部和正、大川龍之介、清宮正徳、静 怜子、竹越一博、通山 薫、南木 融、野村文夫、春木宏介、外園栄作、菱沼 昭、前田育宏、松村 聡、三島清司、三橋知明、柳原克紀、**行正信康**

（敬称略）

### 議 事 録

#### 1. 令和4年度第1回編集委員会議事録の確認

- ・高橋委員長が資料1に基づき議事録の説明をし、ご意見があればご連絡をいただいた旨、述べられた。

#### 2. 会誌発行経過・進捗状況報告

- 1) 「医療検査と自動化」Vol.47-1以降の発行状況及び予定
  - ・高橋委員長が、資料2に基づき報告し、了承した。
- 2) 「医療検査と自動化」(旧JJCLA) Vol.29(2004)以降の掲載論文内訳
  - ・高橋委員長は、資料3に基づいて、ここ数年、論文投稿も順調で、査読も滞っていない。この傾向は今後も続くと思われる旨、報告した。
- 3) 過去1年間の査読結果の内訳(令和3年9月1日～令和4年9月10日に投稿された論文について)
  - ・高橋委員長は、資料4に基づいて、査読結果の状況について報告した。
- 4) 総説執筆者一覧
  - ・高橋委員長は資料5に基づいて、「総説」を掲載し始めた15巻1号から47巻5号までの執筆者と論文タイトルを示し、本誌の総説の質は高いとの感想を述べられた。

#### 3. 過去5年間の投稿論文の採択状況

- ・高橋委員長は資料6に基づいて、採択状況、reject状況について説明、報告した。

日高先生のご意見もあり、今後、表の中に「再投稿辞退の論文数」の欄も設けることにした。

#### 4. 総説執筆者推薦の件

- ・高橋委員長は、総説の執筆者の推薦を依頼したいので、お声がけをお願いしていただきたい旨、お願いした。
- ・委員会の委員長に執筆依頼してはどうかとのご意見が出た。

#### 5. ご意見、ご要望

- ・日高委員から、会誌（抄録集、補冊）の版型をA4に変更したらどうかとのご意見があった。補冊を発行する委員会の意見も聞く必要があるとの意見もあり、高橋委員長はよく検討してみる旨、お答えした。
- ・現在、大会HPに掲載されている会誌はプリントアウトできないが、会員だけでもプリントアウト出来るようにはできないかとの意見があり、高橋委員長は学会の考えもあると思うので、理事会で検討してみる旨、答弁した。
- ・前回の編集会議で約束した論文賞の選考方法の見直しについては、現在、検討しているとの発言があった。

#### 6. その他

- ・中山先生から、臨床検査医学会で論文の査読者をメールで募っているが、どういうメリットがあるのかないのかご存知のか方は教えてほしい旨の発言があった。臨床検査医学会では、「臨床検査領域講習」の点数が得られるメリットがあるが、本学会では与えるものがないので、今までどおりとすることにした。

以上